

# 中心市街地の活性化について



質問者  
齋藤 永 議員

中心市街地の活性化は、町民が希望することの第一番目だとお聞きしております。特に駅前開発は、当町にとって重要かつ不可欠なことと認識しております。駅はまちの顔、新松田駅周辺及び松田駅周辺を未来的、魅力的に整備することが、今後の松田町の賑わいを取り戻す起爆剤になると考えます。

総合計画の中にも新松



新松田駅周辺整備のイメージ図

田駅周辺整備等のこと

が盛り込まれていますか、実現可能な事業ですか、どんな課題がありますか、公共交通機関及び周辺企業・地域住民とのコンセンサスは取れていますか？

今後どのように進めていくか、お伺いいたします。

**A**  
協議会や説明会を開催し、協議・調整を進めていく

回答（町長）



この事業の課題は、用地買収を伴う事業である

ため権利者の方々のご協力を得ること、小田急線新松田駅の南北の駅前広場・南北自由通路・橋上駅舎化など鉄道事業者との協議、再開発組合施行に向けた準備組合の設立や都市計画決定の手続き等がある。

公共交通機関の6事業者とは、協議会や部会等での協議を進めており、権利者の皆さまには、協議会での進捗の説明や意見交換会やアンケート調

査を実施し、一定のご理解をいただいていると考える。

今後、勉強会や検討会を実施し、民間事業者へのアプローチや再開発準備組合設立、都市計画決定の協議・調整を進めていく。財源確保に関しては、国・県の補助金を最大限に活用するため「立地適正化計画」を策定するとともに、基金条例を提出させていただいた。

## 高齢者施策の充実のために



質問者  
南雲 まさ子 議員

本町では「元氣あふれ心かよう 長寿を喜ぶまち」を目指し、さまざまな高齢者施策を講じています。そこで、次のことを伺います。

(1) 健康福祉センターを

整備し、高齢者の居場所づくりを充実させることになりました。今後、町民を交えた話し合いの場を設け、新たなサークル等にも呼びかけ、社会参加の枠を広げながら、居

場所づくりの拡充をしてはいかがでしょうか。

(2) 誰もが迎える死を見据え、ご家族等に最期をどのように迎えたいかを伝える一助としてエンディングノートがあります。本町では、終活セミナーでエンディングノートを配布しましたが、多くの方に活用していただくために、未配付の方にお渡しする工夫が必要と思えますがお考えは。

**A**  
高齢者の生きがいづくりのために

回答（町長）



(1) 自宅から外に出る機会が極端に少ないと、精神的・身体的にも悪影響を及ぼすとされているので、外出する機会の提供や仕組みが必要となる。その取り組みとして、シ



エンディングノート

ニアクラブ松田との協働で、健康福祉センターを、趣味や娯楽を中心とした居場所としていきたい。各種グループ、サークル、地域の茶の間、ボランティアグループ等の活動の場が居場所となっており、担当者と連携を密にして継続できるようにしていきたい。

(2) エンディングノートは、万が一の時に家族への負担を減らしたり、遺される人へのメッセージなどを書いておくノートである。セミナーの参加者等に今まで280冊配付している。未配付の方は、広報等で周知し希望者へ配付していきたい。